

2026 バasketボール競技規則 主な変更点・2026 JBA プレーコーリング・ガイドラインの調整について 20260401

JBA 審判グループ

FIBA 競技規則に伴う変更点においては、**2025 年度の競技規則改訂から変更なし**となっております。

すでに国内では、共有、展開済みとなりますが、一部、トップリーグで先行的に運用されていた部分を、JBA プレーコーリング・ガイドラインに反映、それに沿った映像資料を調整しております。

【主な反映点】

- ・アンスポーツマンライクファウル（UF/C3）を国際基準に沿って判定基準を調整。
- ・昨年度まで C3 と判定されていた多くのケースにおいて、通常の「パーソナルファウル」と判定されることが多くなります。
- ・C3 においては、トランジション中におきる、C1 相当のコンタクトに関して UF/C3 として判定されることとなります。

参照：

▼JBA プレーコーリング・ガイドライン

https://www.japanbasketball.jp/files/referee/rule/5on5_Guide20260401.pdf

▼FIBA Documents Library

<http://www.fiba.basketball/documents>

7. アクトオブシューティング（AOS）

（5）その他のケース

【追加】

- ① AOS 中のプレーヤーがファウルをされたことでボールが一時的に手を離れたあと、ひと続きの動作でボールを再びキャッチしてショットを完了した場合、AOS は継続しているとし、ショットが成功した場合は得点を認め、さらに 1 本のフリースローが与えられる。
- ② AOS 中のプレーヤーがファウルをされたあと、パスをした場合、AOS は終わったことになり、フリースローは与えられない。（チームファウルが 5 個以上の場合を除く）
- ③ AOS 中のプレーヤーがファウルをされたあと、ひと続きの動作でショットを行っているときにトラベリングが起きた場合、AOS は認めるが、ショットが成功したとしてもその得点は認められず、2 本または 3 本のフリースローが与えられる。
- ④ ショットのためのアップモーションや、ショットのためのギャザーとほとんど同時にファウルが起きた場合は AOS を認める。
- ⑤ **ディフェンスが意図的にファウルをすると審判が判断した状況で、オフenseのショットのためのアップモーションやギャザーとほとんど同時にファウルが起きた場合は AOS とは認めない。**

8. アンスポーツマンライクファウル (UF) C1

(2) クライテリア1 : C1

【追加】

- ① オフボールのプレーヤーに対してや、コンタクトがあった体の部分（ポイントオブコンタクト）が単にボールから離れただけでは C1 は適用されず、そのプレーが正当なバスケットボールのプレーであったかどうかを含めて判断する。
- ② ボールにプレーせず、相手の身体の一部を **悪質に** 掴み続ける、抱え続ける、捕まえ続ける、不必要に手・腕で押す、肘・脚を不必要に広げるなどの正当なバスケットボールのプレーとは認められない行為。
 - 瞬間的に相手を掴んだり、抱えたりすることは、ホールディングのパーソナルファウルを適用する。
- ③ ユニフォームを **明らかに** 掴んで引っ張る行為。
 - 正当なバスケットボールのプレーの結果、ユニフォームに手が引っかかったり、瞬間的に掴んだりすることはホールディングのパーソナルファウルを適用する。
- ④ ボールのチームコントロールに関わらずオフェンスまたはディフェンスに適用される。

8. アンスポーツマンライクファウル (UF) C3

(4) クライテリア3 : C3

【追加・調整】

オフェンスが進行する **トランジション中** で、ディフェンスをしようとする努力をせず、その進行を妨げることだけを目的としたディフェンスによる必要のないコンタクト。

- ① このクライテリアはオフェンスがショットの動作に入るまで適用される。
- ② オフェンスの進行を妨げるコンタクトについては、そのコンタクトが正当にディフェンスをした結果のコンタクトであるかを考慮し、C3 またはパーソナルファウル（以下：PF）を適用するかどうかを判断する。
 - オフェンスの進行を妨げ、必要のないコンタクトと判断できる場合：C3 を適用する。
 - オフェンスの進行を妨げてはいるが、**正当にディフェンスをしていると判断できる、または、ボールにプレーしていると判断できる場合：PF を適用する。**
- ③ 必要のないコンタクトとは、**明らかにリーガルガーディングポジションから外れている位置から、相手を掴み続けたり、抱え続けたり、捕まえたりして、ディフェンスする姿勢なくオフェンスの進行を止めるファウルのこと**をいう。
- ④ ボールのチームコントロールをしているオフェンスに対してディフェンスが起こしたコンタクトのみに適用される。

以上